

MATUR NUWUN

日本語パートナーズ インドネシア21期
2024年8月～2025年3月
横尾知香子

自己紹介

Perkenalkan (インドネシア語ではじめまして) !
日本語パートナーズ インドネシア21期 横尾知香子です。
私は、2024年8月からインドネシアの高校で日本語教師の
アシスタントとして活動をしています。
現地の学校や埼玉親善大使としての活動、Wonderがfull
(驚きがたくさん) なインドネシアの生活を紹介してい
きたいと思っています！
Matur Nuwunは、ジャワ語でありがとうの意味です。



インドネシアってどんな国？



インドネシアは一言でいうと、「とーっても大きい国」です。
東南アジアに位置し、面積は日本の5倍、人口は日本の2倍で世界第4位です。
日本と同じく島国ですが、島の数は1万3466、話されている言語は500以上あり、
地域ごとに民族性や文化も異なります。

インドネシアの季節は、乾季（4月～10月）と雨季（11月～3月）の2つです。
南半球の熱帯地域ですが、1年を通して25～35℃くらいの気温です。
日本を出発したのが真夏の8月だったので、ジャカルタに到着した時は
「あれ？日本よりも涼しい！！」と驚きました。



MATUR NUWUN

日本語パートナーズ インドネシア21期

2024年8月～2025年3月

横尾知香子

私の派遣先

私は、インドネシア 東ジャワ州 プロボリングゴに派遣されて、日本語教師のアシスタントとして活動しています。プロボリングゴは、首都ジャカルタ（2045年に向けてヌサンタラに移転中）と同じジャワ島にあり、第二の都市スラバヤからバスで1時間半、電車で2時間の田舎町です。

初めて任地に到着したときは、「ここで生活出来るかな？」と不安が大きかったのですが、学校の先生方や生徒、地域の方々にも恵まれて、私のインドネシアの地元は「ここ！」というくらい、とっても愛着が沸いています。名物は、マンゴーと馬に乗って登れるBromo山です！



インドネシアの生活は、どんな暮らし？

食べ物

お米と揚げ物が中心の食事が多く、毎日「辛すぎる！」「甘すぎる！」の連続です。私は辛いものが好きなので、色々なサンバル（唐辛子のソース）を食べ比べしています。学校ではKantin（食堂）で、それ以外は住居近くのWarung（屋台）で食べています。

日本と同じく豆腐を食べる文化があり、揚げ豆腐やTempeと呼ばれる大豆の発酵食品を使った料理も多くあります。

インドネシアは、フルーツ天国なので日本ではお目にかかれないようなフルーツに挑戦できるのも楽しみです。

なんとマンゴーは1個Rp.5,000（50円）で買うことができます...！



MATUR NUWUN

日本語パートナーズ インドネシア21期

2024年8月～2025年3月

横尾知香子

インドネシアの生活は、どんな暮らし？

言語

インドネシアの公用語はインドネシア語なので、学校の授業はインドネシア語で行われますが、それ以外の家族や友達との会話は現地語のジャワ語やマドゥラ語を使っている方が多いです。私はインドネシア語で精一杯ですが、Warung（屋台）で少しでも現地語を使うと喜んでくれるので、頑張っって覚えようと思っています。

交通手段

市内は徒歩またはMaxim, Gojek, Grabなど
オンラインタクシーを利用して、大体Rp.30,000
（300円）以内で移動が出来ます。

スラバヤまではヒッチハイク式の高速バスで
Rp.60,000（600円）です。

ジャワ島内は電車が通っているので、休暇中に任地の
プロボリングゴから世界遺産があるジョグジャカルタ
まで片道7時間の旅もしました！



宗教

インドネシア国民の約90%がイスラム教を信仰するムスリムです。

1日に5回お祈りの時間があり、早朝からアザーン（お祈りの音楽）が町中に流れ、この時間は学校の授業も中断されます。また、女性はヒジャブ（頭髪を覆う布）を被るため、学校の制服一式にもヒジャブが含まれています。

